

今般の審議要請の趣旨につきまして

(デジタル学習基盤の整備・充実やそれを活用した教育のデジタル化の推進について)

文部科学省では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など、教育の質を向上させるために GIGA スクール構想を推進してまいりました。GIGA スクール構想によって、1 人 1 台端末が整備され、学校における ICT 機器の活用は日常化しつつあります。また、全国学力・学習状況調査では、ICT 機器を活用し、主体的・対話的で深い学びに取り組むほど、平均正答率が高い結果となるなど、成果も出ているところであります。さらに、ICT 機器は、不登校児童生徒の支援など、誰一人取り残されない学びの保障にも不可欠であると考えております。

他方、学校における通信ネットワークの着実な改善、地域間の活用格差の解消に向けた伴走支援の強化、校務 DX の加速、教育データ利活用の推進などに対応する必要があります。令和 6 年 12 月に中央教育審議会に諮問した「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」においても、顕在化している課題の一つとして、「GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤は、一人一人の興味や関心等に応じ、よさを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めていますが、その効果的な活用は緒に就いたばかり」であり、「「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って、積極的に取り組む必要があります」としたところです。

現在、教育のデジタル化に関わる幅広い政策課題について、様々な会議体で専門的な検討を行っていますが、それら相互の関係について、整合性を持った形で検討・実施する必要があります。このため、引き続き中央教育審議会の場で、デジタル学習基盤に関する事項を総合的に御審議いただきたいというのが、今回の審議要請の趣旨となります。

御審議に当たっては、各種会議体における検討状況や方向性について随時報告を受けるとともに、中央教育審議会として特に専門的に御議論いただくべき事項については、特別委員会の下にワーキンググループを設けて検討を進めていただきたいと考えています。特に、デジタル教科書については、令和 7 年中に結論を出す必要があることから、速やかな検討をお願いします。